

小学生向け プログラミング教室

マイクラフトの世界で
プログラミングをしよう！



プログラミング教室を修了した受講生

町では「IoTのまちづくり事業」の一環として、小学生向けの「プログラミング教室」をアケルゲート合同会社(八幡平)の阿部拓磨さんを講師に迎え、2月23日に開催しました。長島製作所平泉工場を会場に、町内小学校の4、6年生から15人が教室に参加しました。



講師から説明を受ける受講生

受講生は、パソコンの操作方法を知るところから始め、マイクラフトと組み合わせやすくプログラミングの基本を学びました。教室の最後には、受講全員に修了証書が交付されました。

Interview



平泉小学校 5年生
ほんま よしき
本間 嘉悠 さん

考え方を楽しく学べた

知っているゲームだったので、プログラミングの考え方を楽しく学ぶことができました。どうしたらミッションをクリアできるか、自分のアイデアが動きになって進めていくのがおもしろかったです。

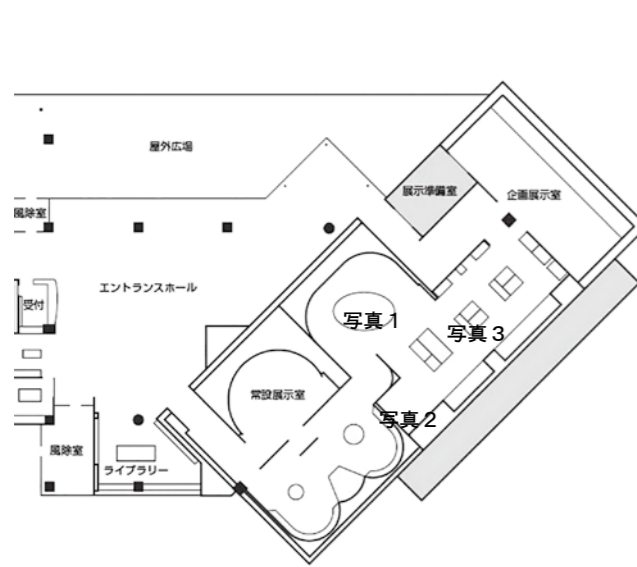


図 展示室と今回紹介箇所



写真1 平泉館ジオラマと壁面映像

平泉館ジオラマでは3代秀衡初期のころの館内の様子を遺構や遺物をもとに復元するとともに、壁面映像は館の1年の様子を40分サイクルで投影しています。

4回にわたる平泉世界遺産ガイドダンスセンターの展示紹介、2回目は柳之御所遺跡に所在したとされる平泉館に関する展示について紹介します。
世界遺産コーナーを出ると、平泉館の100分の1ジオラマと壁面アニメーションが現れます(写真1)。3代秀衡初期の館内の様子を遺構や遺物に即してジオラマに復元し、併せて壁面アニメーションで当時の状況を再現しています。ジオラマには復元建物のほか、フィギュアなどもありますので、館内の様子を

発掘最前線 平泉を掘る

平泉世界遺産ガイドダンスセンターの展示紹介(柳之御所遺跡①)

立体的にイメージできます。奥には奥州藤原氏4代のアニメと町内遺跡の紹介映像があります(写真2)。清衡・基衡・秀衡・泰衡の事績と平泉町中心部の主要な遺跡について分かりやすく紹介しています。
さらに奥には、平泉館内における様子を儀式・政務など6つのテーマに分けて、重要文化財に指定されている出土品などから理解できるように展示しています。その中には、ケロ平のモデルとなった、いわゆる「カエル板絵」(写真3)も含まれています。
(県立平泉世界遺産ガイドダンスセンター)



写真2 奥州藤原氏4代のアニメ

奥州藤原氏4代の生涯を、それぞれ3分程度にまとめ、下部には英語を付して、外国の人にも分かりやすく紹介しています。



ケロ平誕生のきっかけとなった絵だケロ!
©2013岩手県 ケロ平 designed by センウェル

写真3 カエルの絵が描かれた板片

展示室にはこの板絵のほか、重要文化財に指定された柳之御所遺跡出土品が数多く展示されています。



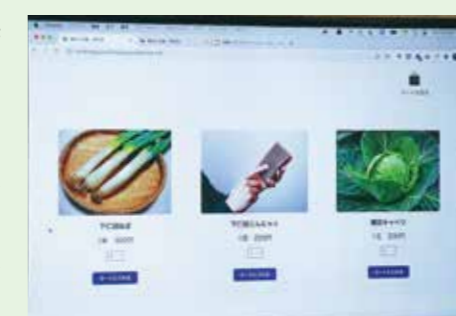
スバルタキャンプの様子

即戦力としての技術者を養成し、地元就職と町内の起業の促進を目的に開設している専門的プログラミング講座「スバルタキャンピン平泉町」が、3月13日に全日程を終了しました。長島製作所平泉工場を会場に2月19日から始まった今年度2回目の講座は、ウェブサイトやウェブアプリケーションの開発に多く用いられる「PHP」というプログラミング言語をテーマに開設しました。全国から集まった14人がおよそ1カ月の間、毎週土

個性豊かなアプリを開発

スバルタキャンプを通して得た知識や技術を使って、受講生のアイデアを活かした個性豊かなアプリなどが開発されました。

講座の最終日には、発表の機会が設けられ、1カ月間の成果を披露しました。



地域の特産品をとことん買えるアプリ

日の講座を受講しながら、平日は課題に取り組み、シェアハウスでの生活を通じて、互いに学びを高め合いながらプログラミングのスキルを磨きました。

町プログラミング講座 スバルタキャンピン PHP編